

製品名: ENO1/ENO2/ENO3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87667**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	Calculated MW:47 kDa; Observed MW:47 kDa

抗原情報

遺伝子名	ENO1/ENO2/ENO3
別名	NNE; PPH; MPB1; ENO1L1; HEL-S-17
遺伝子 ID	2023
SwissProt ID	P06733
免疫原	ヒト ENO1 の組み換えタンパク質

背景

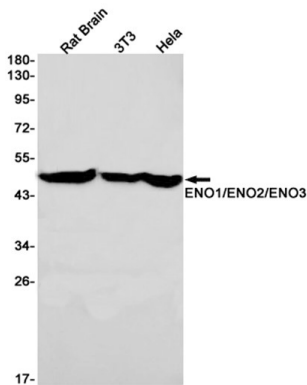
この遺伝子は、哺乳類に見られる3種類のエノラーゼアイソザイムのうちの1つである α -エノラーゼをコードしています。各アイソ

ザイムは、2つの α 、2つの γ 、または2つの β サブユニットからなるホモダイマーであり、解糖酵素として機能します。さらに、 α -エノラーゼは単量体では構造レンズタンパク質（タウクリスタリン）として機能します。この遺伝子の選択的スプライシングにより、c-myc プロモーターに結合し、腫瘍抑制因子として機能することが示された短いアイソフォームが生成されます。1番染色体長腕に存在するものを含む、いくつかの偽遺伝子が同定されています。 α -エノラーゼは、橋本脳症の自己抗原としても同定されています。[RefSeq 提供、2011年1月]

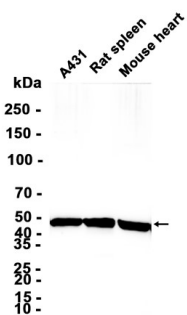
研究分野

-

画像データ



ENO1/ENO2/ENO3 抗体 (1:1000 希釈) を使用したラット脳、3T3、Hela 細胞溶解物中の ENO1/ENO2/ENO3 のウエスタン プロット検出。



AMRe87667 を 1:1000 で使用して、A431 細胞およびラットの脾臓、マウスの心臓組織からの抽出物のウエスタン プロット分析を行いました。